

こっこめ通信 03 2012

「見られる時に見ておきたい」号



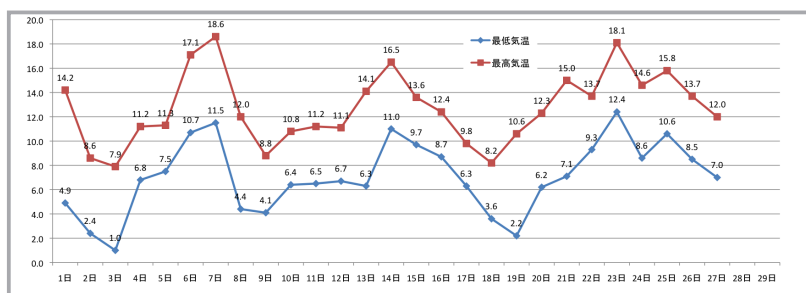
八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

2月になって島の中では「カンヒザクラが咲いた」「カワヅザクラが咲いた」という話を耳にします。確かに綺麗ですが、島ではやっぱり“オオシマザクラ”ですね（カンヒもカワヅも好きですよ）。例年は園内でも2月下旬には咲き始めるのですが、今年は、蕾が固いままで。この様子だと昨年同様、3月8日頃に咲きだしそうです。咲き始めの早い木は20日過ぎには満開になるでしょう。楽しみです。

さて、今回は「寒かったり暖かかったり」「冬を越したツマグロヒョウモン」についてのお話です。

寒かったり暖かかったり

今シーズンは強い寒気が何度も日本を覆い、積雪が多くなっています。そしてその寒気が八丈島付近まで南下することが何度もあり、島も少しだけ雪景色に変わった日がありました。



2012年2月の最高気温と最低気温（気象庁統計情報より）

特に2月3日は最低気温が1.0℃まで下がり、さらに東北東の風も強く体感的にはもっと寒い1日となりました。日本海から流れ込んだ雪雲が海を越えて、島まで辿り着き、三原山はシュガーパウダーを振りかけたように白くなってしまいました。山は白くなっていましたが、標高の低い場所は、雪が積もっても一瞬で消えてしまうので、面白い写真も撮れました。（写真右上）この積雪により、山に登る道は通行止めになり、残念ながら山の上の様子を見に行くことができませんでした。午後になって、三原山の北東側にある、水海山（標高400m付近）に行ってみてビックリ！吹きだまりには5cm以上の雪が積もっていました。平らな駐車場でも足跡がくっきりと残る積雪（写真右中）がありました。

【島に降るのは雪？】降り積もったものをよく見ると（写真右下）、雪と同じ白色ですが、一つ一つが丸い粒になっていて霰のようです。氷のようになっていないので雪あられでしょうね。

その後は、気温が上がったり下がったり。7日には南寄りの風が吹き込み19℃近くまで上がり、19日にはまた寒気がやってきて気温が下がる。寒かったり、暖かかったりで、体調管理が大変な2月でした。それでも、オオシマザクラの蕾もふくらみ始め、春の足音が段々と大きくなってきている八丈島です。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

冬を越したツマグロヒョウモン

ツマグロヒョウモンは、八丈島では春から秋に標高の高い場所で見られるチョウ。個体数も少ないことから、風に乗ってやってくる迷蝶ではないかと思われています。しかし、ビジターセンターでは、2010 年秋に終齢幼虫を発見し、島内で世代交代の可能性が高まりました。そして今回さらに、冬を越した幼虫を確認しました。



幼虫を確認したのは2012年2月19日、植物公園内のソテツが植えられている芝生でした。ここには、シバの中にたくさんのアツバスミレがあります。数えてみると、シバの中に8匹の終齢と思われる幼虫がジッとしていました。数匹は人に踏まれてしまう可能性がある場所にいたため、一段高い場所のアツバスミレの近くに移動し、残りは継続観察するため、そのままにしておきました。

翌日、その場所に行ってみると、1匹の幼虫が少し背の高いシバにぶらさがり、前蛹段階に入っていました。数日経った24日に見に行ってみると、その幼虫はすっかりと蛹に変わっていました（写真下左）。また、移動させた終齢幼虫は、ほとんど姿が見られなくなりましたが、数匹がまだアツバスミレの葉を食べていました（写真下右）。

見えなくなった幼虫もどこかで蛹になっているのか？それとも誰かに襲われてしまったのか？どちらでしょうか？

暖かくなって綺麗な蝶の姿が見られるのを楽しみにしています。



2005年に島の中で「カバマダラ」がたくさん見られたことがありましたが、翌年以降はほとんど見つからず、偶発的な発生でした。しかし、「テングチョウ」のように2007年に初めて確認された後も毎年確認されている種もあります。さて、ツマグロヒョウモンはどちらの道を進んでいくのでしょうか？

でも何故、今年は年を越した幼虫が見られたのでしょうか？ そう言えば秋になっても、ずっとビジターセンターの前を飛び回っていたメス（写真上右）がいたので、きっとそのメスが産卵したのかも知れないですね。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 2 月 12 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 24 年第 2 回）参加者 寺尾、佐々木、小林、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			15	ヒメユズリハ	実が残る
1	アオノクマタケラン	実が残る	16	ホウライカズラ	実の虫こぶ
2	アシタバ	実	17	ホルトノキ	実が残る
3	イヌホオズキ	実	18	マサキ	熟した実
4	イワニガナ	花	19	マンリョウ	熟した実
5	ウスベニニガナ	花と実	20	モチノキ	実が残る
6	オオシマカンズゲ	花	21	ヤツデ	実
7	オニタビラコ	花と実	22	ヤブツバキ	花
8	コスミレ	花	23	ヤマモモ	花芽
9	シチトウスミレ	花	シダ植物		
10	ススキ sp.	実	1	アラゲヒメワラビ	
11	スズメノカタビラ	花	2	オオイタチシダ	
12	ツルソバ	花と実	3	オオタニワタリ	
13	ツワブキ	実	4	オクマワラビ	
14	ハキダメギク	花と実	5	オニヤブソテツ	
15	ハチジョウアザミ	実	6	タチクラマゴケ	
16	ハルジオン	花	7	タチシノブ	
17	フウトウカズラ	熟した実	8	タマシダ	
18	ヘクソカズラ	乾いた実	9	ナチシケシダ	
19	ムラサキカタバミ	花	10	ノキシノブ	
木本			11	ハチジョウカナワラビ	
1	アオキ	熟した実	12	ハチジョウシダ	
2	イヌビワ	実	13	ハチジョウベニシダ	
3	オオバヤシャブシ	実	14	ヒトツバ	
4	オオムラサキシキブ	実が残る	15	ホシダ	
5	ガクアジサイ	実	16	ホラシノブ	
6	サカキカズラ	種子が飛ぶ	17	マツバラソ	
7	シマクサギ	実が残る	18	マメヅタ	
8	タイミンタチバナ	蕾	19	ミゾシダ	
9	タブノキ	葉裏の虫こぶ	20	ヤマイトチシダ	
10	テイカカズラ	種子が飛ぶ	今回はシダ植物 20 種を含む 62 種の植物を観察しました。寒い一日でしたが、シジュウカラやキジバト、ヒヨドリなどの囀りが聞こえ、春の到来を予感させてくれました。		
11	トベラ	割れた実			
12	ハゼノキ	乾いた実			
13	ハチジョウキブシ	花芽			
14	ヒサカキ	蕾			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られるようになった「テングチョウ」にスポットを当ててみたいと思います。



テングチョウ

Libythea celtis

タテハチョウ科テングチョウ亜科。北海道から南西諸島に分布。

翅を広げると 40mm ほどになり、頭部にパルピ（下唇髭）と呼ばれる突起が長く伸びているのが特徴。島では 2007 年に初めて記録され、その後は毎年確認されています。幼虫の食草はエノキで、植物公園の中のエノキにもついています。冬の暖かな日には成虫の姿も見られます。

2012 八丈ビジターセンター 3 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		 この色の日は 特別行事があります		☾ 1 08 : 45 02 : 28 16 : 54	2 09 : 22 18 : 31	3 ガイドウォーク 03 : 36 07 : 06 11 : 51 19 : 55
4 ガイドウォーク 03 : 45 09 : 02 13 : 51 20 : 52	啓蟄 5 04 : 06 09 : 37 14 : 55 21 : 37	6 04 : 29 10 : 07 15 : 45 22 : 16	7 04 : 54 10 : 38 16 : 30 22 : 53	☉ 8 05 : 20 11 : 11 17 : 15 23 : 30	9 05 : 46 11 : 45 18 : 00	10 ガイドウォーク 特別行事 「八丈小島探鳥クルージング」 「カンムリウミスズメの 現況と保護」 06 : 12 00 : 05 18 : 46 12 : 22
11 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 06 : 39 00 : 39 19 : 34 13 : 00	12 07 : 06 01 : 13 20 : 27 13 : 42	13 07 : 34 01 : 46 21 : 30 14 : 30	14 08 : 03 02 : 19 23 : 00 15 : 28	☾ 15 08 : 38 02 : 58 16 : 47	16 01 : 24 04 : 29 09 : 37 18 : 31	17 ガイドウォーク 02 : 53 07 : 59 12 : 23 20 : 00
18 ガイドウォーク 03 : 30 09 : 06 14 : 11 20 : 59	19 03 : 57 09 : 41 15 : 13 21 : 42	春分 20 ガイドウォーク 04 : 21 10 : 10 15 : 59 22 : 18	21 04 : 43 10 : 38 16 : 39 22 : 49	● 22 05 : 04 11 : 05 17 : 15 23 : 18	23 05 : 25 11 : 33 17 : 50 23 : 45	24 ガイドウォーク 八丈学講座 「春の植物観察会」 05 : 47 12 : 01 18 : 24
25 ガイドウォーク 特別行事 「ハーブティーでお花見」 06 : 08 00 : 12 18 : 58 12 : 30	26 06 : 30 00 : 37 19 : 33 13 : 01	27 06 : 52 01 : 02 20 : 10 13 : 34	28 07 : 14 01 : 26 20 : 53 14 : 10	29 07 : 37 01 : 51 21 : 50 14 : 54	30 08 : 02 02 : 21 23 : 26 15 : 53	☾ 31 ガイドウォーク 08 : 39 03 : 15 17 : 18

イベントプログラム

特別行事 「八丈小島探鳥クルージング」	日本野鳥の会の山本裕さんと一緒に八丈小島へカンムリウミスズメを探しに行きます。 3 / 10 (12 : 30 ~ 約3時間) 小学生以上 (低学年は保護者同伴) 八重根漁港集合・解散 参加費 : 3000 円 定員 : 20 名
講演会 「天然記念物の海鳥 カンムリウミスズメの現状と保護」	探鳥会に引き続き、日本野鳥の会の山本裕さんを講師に招き、現状と保護の講演会です。 3 / 10 (19 : 30 ~ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンターにて 参加費 : 無料 定員 : 55 名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう ! 3 / 11 (13 : 30 ~ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員 : 15 名
八丈学講座 「春の植物観察会」	毎月行っている八丈学講座。今月は、ホタル水路で春の植物を一緒に探しましょう ! 3 / 24 (13 : 30 ~ 約1時間半) 中学生以上 鴨川ホタル水路 集合・解散 参加費 : 50 円 定員 : 15 名
春の特別行事 「ハーブティーでお花見」	今年もオオシマザクラの下でクッキー&お茶でお花見をしましょう ! 太鼓もあるよ ! 3 / 25 (13 : 30 ~ 約1時間半) だれでも 植物公園 (日本の森) 集合・解散 参加費 : 200 円 定員 : 20 名

ビデオプログラム

10 : 00 ~	八丈・海・生きものたち
11 : 00 ~	おじゃりやれ 八丈島
14 : 00 ~	おじゃりやれ 八丈島
15 : 00 ~	おじゃりやれ 八丈島
16 : 00 ~	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2012.3.1 第140号
開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話 : 04996-2-4811 Fax : 04996-2-4888

編集後記

紹介したツマグロヒョウモンの蛹ですが、いつ踏まれてもおかしくない場所だったので、枝に付け替え、安全な場所に移動しました。余計なことをしたのかも知れませんが、羽化するのか？しないのか？見届けたかったです。どうなったかはホームページで報告します。(高)